

R&I中堅企業格付け

2008年2月7日
格付投資情報センター
ストラクチャードファイナンス本部 副本部長
ストラクチャードファイナンス部長
中堅企業格付室
北原 一功

「R&I中堅企業格付け」の特徴

・ 中堅・中小企業に最適な符号体系

- R&Iの事業債格付けは主に公募社債やその発行企業への格付けを対象としているため、日本企業群の大部分を占める中堅・中小企業には必ずしもなじまない格付け体系と言えます。
- そこで、銀行貸し出しの優良対象先たる「融資適格企業」の概念を中心に据え、中堅・中小企業の信用力を適切に評価することを狙いとした新たな格付け体系を開発致しました。
- R&Iの既存事業債格付け体系(AAA～C)とは異なった格付け体系です。小文字の格付け体系(aaa～ccc)を利用し、信用度を7段階で表現します。(注)

(注) 事業債の格付けの体系と「R&I中堅企業格付け」の体系や信用度は一致しません。また、事業債格付けを取得される際に一定の格付け符号を保証するものではありません。

中堅企業格付け定義

符号	定義
aaa	中堅・中小企業のなかで、信用力は相対的に最も高い。
aa	中堅・中小企業のなかで、信用力は相対的に非常に高い。
a	中堅・中小企業のなかで、信用力は相対的に高い。
bbb	中堅・中小企業のなかで、信用力は相対的に十分であるが、将来環境が変化する場合、注意すべき要素がある。
bb	中堅・中小企業のなかで、信用力にやや問題がある。将来環境が変化する場合、十分注意すべき要素がある。
b	中堅・中小企業のなかで、信用力に問題がある。絶えず注意すべき要素がある。
ccc	債務不履行に陥っているか、またはその懸念が強い。

(参考) 既存事業債格付け体系の符号と定義

AAA	信用力は最も高く、多くの優れた要素がある。
AA	信用力は極めて高く、優れた要素がある。
A	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。
BBB	信用力は十分であるが、将来環境が大きく変化する場合、注意すべき要素がある。
BB	信用力は当面問題ないが、将来環境が変化する場合、十分注意すべき要素がある。
B	信用力に問題があり、絶えず注意すべき要素がある。
CCC	債務不履行に陥っているか、またはその懸念が強い。債務不履行に陥った債権は回収が十分には見込めない可能性がある。
CC	債務不履行に陥っているか、またはその懸念が極めて強い。債務不履行に陥った債権は回収がある程度しか見込めない。
C	債務不履行に陥っており、債権の回収もほとんど見込めない。

「プラス(+)、マイナス(-)表示」

AA格からCCC格については、上位格に近いものにプラス、下位格に近いものにマイナス表示をすることがあります。なお、CC格では、契約の内容や回収の可能性などを反映し、長期個別債務格付けを発行体格付けと異なる符号にする場合、プラス、マイナスを付けることがあります。

評価対象

・ 評価対象

- 直近の年商が5億円～100億円程度であること
- 最近3年間に於いて金融債務の延滞がないこと、および法的倒産先でないこと
- 必要な資料をご提出頂けること
- 以下の業種に関しては格付け対象外となります。
 - 自営業者、金融業者、各種公社、社団法人、財団法人、医療法人、学校法人、公益法人、各種組合等

定量評価＋定性情報(一定の範囲内)での格付け

- モデルによる財務定量評価を中心に実施します。その定量評価結果に加えて、ご提出頂いた企業の定性情報の範囲内で格付けアナリストが判断して最終的な格付けを決定します。
 - 機械的な評価に見られがちなモデルのくせなどを排除することが可能となり、より精度の高い格付け結果をご提供することが可能となります。
- 具体的な評価プロセス
 - 1)モデルによる定量評価
 - 2)ご提出いただいた調査票(様式B)をベースにその情報の範囲内で定性評価を実施
 - 3) 定量評価をベースに、一定の範囲内で定性評価をアナリストの視点から格付け符号に反映
 - 4) 中堅企業格付けを決定

定量評価：中堅企業格付けモデル①

- モデル開発
 - 複数の金融機関の協力を得、それらデータなどを利用し、弊社子会社(株)金融工学研究所が開発
- モデルの手法
 - オーダードロジットモデルを採用
- モデル数
 - 業種別(製造、小売、卸、建設など)に合計8つ

定量評価：中堅企業格付けモデル②

- 指標の絞込み
 - クレジットモデルのノウハウを有する金融工学研究所が指標を抽出するとともに、R&Iのアナリストがクレジットの観点から、その指標の絞込みを実施
- モデルの妥当性検討
 - アナリストによるシャドー格付けとの相関チェック
 - 協力金融機関と格付け結果の精査を実施するとともに、相違点を個別に原因究明
 - これらの結果を利用してモデルをチューニング

定性評価：調査票（様式B）での主な記載項目

■ 一般情報
設立年月日
業種、事業内容
業界地位
代表者
従業員構成
主要株主
関係会社、グループ会社
取引先金融機関
代表者ならびに代表者関係者との取引
■ 保有資産の状況
保有資産の簿価、時価、取得時期など

■ 営業販売の状況	
主要商品、サービス	
営業地域	
営業形態	
主要販売先	
販売条件	など
■ 仕入・生産の状況	
主要仕入先	
仕入条件	など
■ グループ会社	
グループ会社との取引状況	など

定性評価：アナリストが主に確認している視点

■事業内容について

- ・組織体制
- ・事業環境の現状と見通し
- ・同業他社の状況および同社の強み
- ・リスクのある事業などはないのか

など

■財務面

- ・不良資産、不良在庫などはないか
- ・各種回転率
- ・設備投資動向
- ・事業リスクに対する財務面での耐久性

など

■収支面、資金繰り面

- ・全体および部門別収支の動向
- ・不採算部門はないのか
- ・損益分岐点分析
- ・資金移動表(経常収支、設備等収支、財務関係収支)
- ・資金運用表(調達と運用のバランス)
- ・金融機関の取引姿勢

など

重視する指標

- 基本的に安全性指標を重視

収益性	売上高経常利益率(%) 使用総資産事業利益率(ROA)(%、12ヶ月換算)
効率性	売上債権回転日数(日、12ヶ月換算) 棚卸資産回転日数(日、12ヶ月換算)
安全性	自己資本比率(%) 債務償還年数 有利子負債利子率(%) インタレストカバレッジ(EBITDAベース) 現預金比率(%、12ヶ月換算)
流動性	当座比率(%)
成長性	増収率(12ヶ月換算) 増益率(12ヶ月換算)

格付け符号の有効性

・ 格付け符号の有効性

- 「R&I中堅企業格付け」はある特定の期の決算を基にした評価日時点における格付けです。原則、ご取得日より次の決算期の3ヶ月後までR&IのHP等にて公表致します。
- 格付けご取得後の信用力変化に関する継続的な監視(モニタリング)はおこないません。

・ 結果の公表、IR等への活用

- ご希望される場合には格付け結果をR&IのHP等にて公表致します。また、全国紙等で宣伝・公表させていただく事もございます。

格付け費用と格付け期間

- ・ **低コストの格付け付与**

- 初年度費用 40万円
- 継続料金 30万円（ただし、前回格付け取得日より2年以上経過した場合は初年度料金となります）
 - ・ 消費税別

- ・ **短期間での格付け付与**

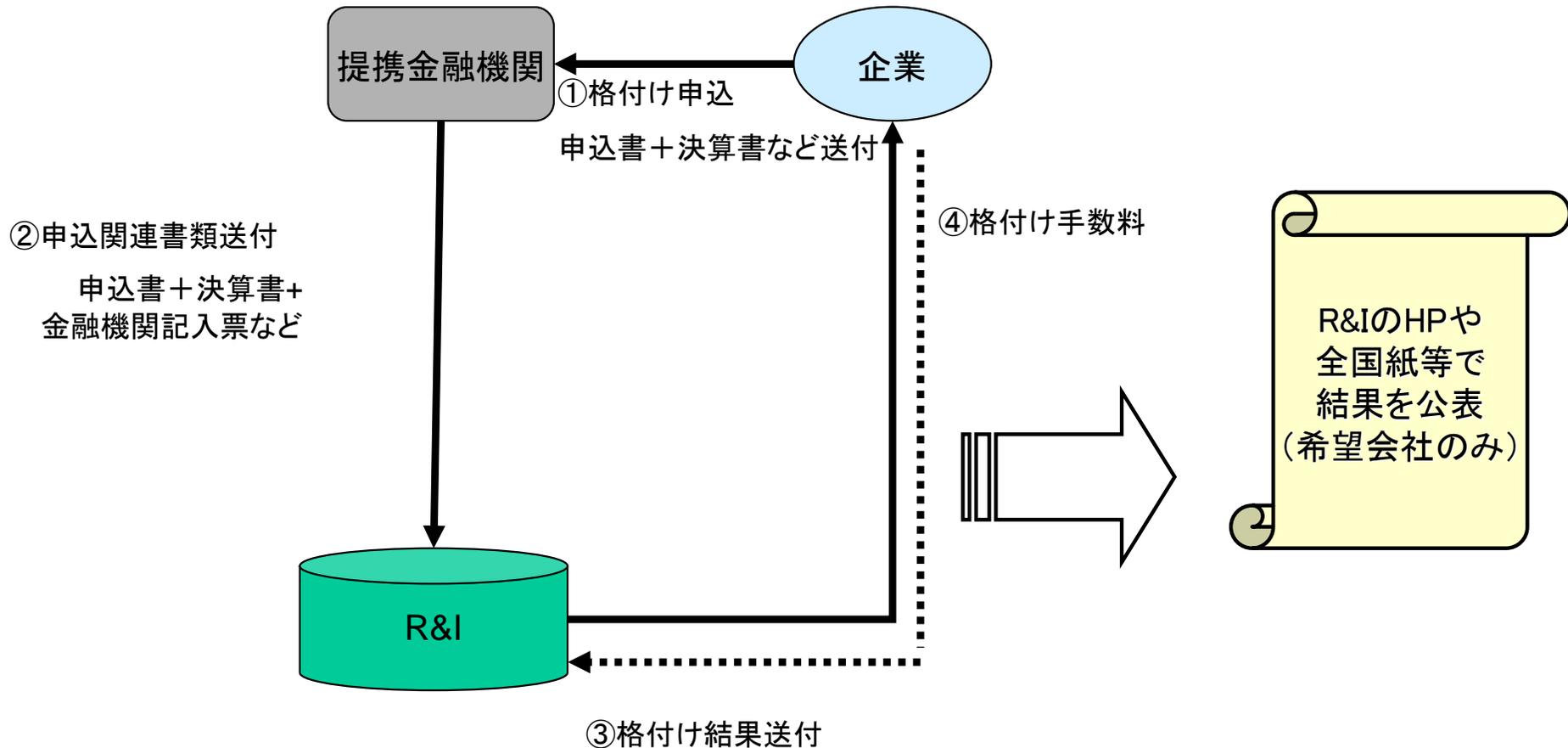
- R&Iにてお申し込みを受け付け後、速やかに審査をおこないます。（最短2週間を想定）

「R&I中堅企業格付け」の活用例

・ 格付け符号の活用例

- 企業のIR目的
 - ・ 信用力状態の開示
 - ・ 社員のリクルーティング
- 経営目標として
- 資金調達が多様化
 - ・ 信用力のリファレンス： シローン、私募債、CLO等
- 取引先拡大・業務提携推進の支援情報として

「R&I中堅企業格付け」の取得手順



必要書類

- ・ R&I中堅企業格付け申込書(様式A)
 - ・ 調査票(様式B)
 - ・ 取扱金融機関提出票(様式C)
 - ・ 原則、直近5期分以上の決算書
 - ・ 商業登記簿謄本(直近3ヶ月以内に取得されたものに限る。原本)
 - ・ 印鑑証明書(直近3ヶ月以内に取得されたものに限る。原本)
 - ・ 税務申告書(全項を5期分。写しで可)
 - ・ 金融機関別借入残高推移(5期分)
 - ・ 会社概要(パンフレットなど。様式は問わない)
-
- ・ 提携金融機関からは別途金融機関記入票(Z票)を受領

通常の格付けとの違い

- ・ 格付けの説明は行いません。
- ・ モデルを策定している弊社子会社金融工学研究所が関与します。
- ・ 特定の債務等に対する格付けではありません。
- ・ 金融業等一部格付けできない業種があります。
- ・ ある特定の期の決算をもとにした評価時点の格付けです。よって、モニタリングは行いません。
- ・ 未監査でもOKです。

結果のフィードバック

- ・ R&I中堅企業格付け通知書
- ・ 財務診断シート
- ・ 格付け結果を刻印した記念品
 - － 公表企業で、ご希望があれば



財務診断シート

財務診断シート

2007/2/●
格付投資情報センター

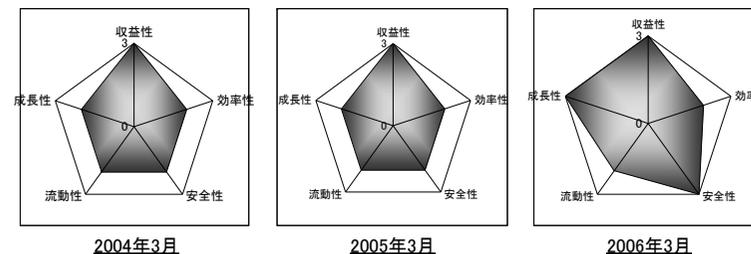
お客様名	株式会社 格付産業
業種	サービス業

格付	a	決算	2006年3月
----	---	----	---------

財務ハイライト (単位:千円)

項目名		2004年3月	2005年3月	2006年3月
B/S	資産合計	御社の財務指標が掲載されます。		
	自己資本			
	現金・預金			
	長期借入金(長期借入金 + 社債)			
	短期借入金			
	借入金合計			
P/L	売上高			
	営業利益			
	経常利益			
	特別利益			
	特別損失			
	当期利益			
	減価償却費			
減価償却費 + 当期利益				

レーダーチャートでみる経営指標



2004年3月
格付アナリストの視点

概ね、以下の順序でアナリストからみた視点を、御社からいただいた情報の範囲内で、掲載します。

- 1 会社概要
- 2 格付けのポイント
- 3 会社のリスク・注意点
- 4 格付け改善のポイント

『格付けのポイント』では事業面、財務・収支面の評価ポイントをコメントします。

『格付け改善のポイント』では、格付けの向上につながるポイントを掲載します。

経営指標

指標	2004年3月	2005年3月	2006年3月	指標ランク
収益性				
効率性				
安全性				
流動性				
成長性				

モデルやアナリストが重視している指標を掲載しています。
収益性指標が2つ、効率性指標が2つ、安全性指標が5つ、流動性指標が2つ、成長性指標が2つです。
たとえば、安全性指標の代表的なものに自己資本比率があります。
これら指標を改善していただくことにより、格付けが向上する可能性があります。
また、指標のランクも3段階で表示しています。

経営指標の計算式

経営指標の具体的な計算式を掲載しています。
改善すべき勘定科目を把握することができます。

(注)『格付け改善のポイント』において、記載されたことを実施することをもって、格付けが上がることを保証するものではありません。

Copyright 2007 Rating and Investment Information, Inc. All Rights Reserved.

取得企業一覧(2008年2月5日現在)

法人名	中堅企業格付け	対象決算日	住所
株式会社穴吹ハウジングサービス	aa	2007年3月31日	香川県高松市
石部運輸倉庫株式会社	a	2007年3月31日	滋賀県湖南市
株式会社ウエノ	bbb	2007年5月31日	山形県鶴岡市
ウエル・ユーカン株式会社	aa	2007年3月31日	広島県広島市佐伯区
近江ニスコ工業株式会社	a	2007年3月31日	滋賀県野洲市
春日基礎株式会社	a	2007年1月31日	東京都豊島区
國富株式会社	aa	2007年3月31日	広島県呉市
株式会社コーエー	aa	2007年6月20日	茨城県取手市
小橋工業株式会社	aaa	2007年6月30日	岡山県岡山市
株式会社斎藤英次商店	a	2006年10月31日	千葉県柏市
株式会社サンクス・エクスプレス	a	2007年9月30日	岩手県紫波郡矢巾町
株式会社JPD清水	a	2006年5月31日	京都府長岡京市
株式会社昭和建設	a	2006年12月31日	岩手県盛岡市
新光重機株式会社	aa	2007年5月31日	千葉県千葉市中央区
株式会社須藤不動産	bbb	2007年9月30日	山形県天童市
ツカサ産業株式会社	aa	2007年1月31日	滋賀県草津市
東広商事株式会社	a	2006年12月31日	広島県東広島市
丸五運送株式会社	bbb	2007年3月31日	滋賀県甲賀市

提携金融機関(2008年2月5日現在)

- ・ 愛知銀行
- ・ 伊予銀行
- ・ 関東つくば銀行
- ・ 紀陽銀行
- ・ 佐賀銀行
- ・ 滋賀銀行
- ・ 常陽銀行
- ・ 新銀行東京
- ・ 第四銀行
- ・ 千葉銀行
- ・ 中国銀行
- ・ 東北銀行
- ・ 徳島銀行
- ・ 南都銀行
- ・ 広島銀行
- ・ 福岡銀行
- 福邦銀行
- ・ 三重銀行
- ・ 南日本銀行
- ・ 宮崎銀行
- ・ 八千代銀行
- ・ 山形銀行